

Be ambitious!

2020. 10. 8 (木) 発行

兵庫県立有馬高等学校 第73回生 3学年通信 第5号

2020年度後期、始まる

創立記念日を境に、後期に突入しました。1限目は後期始業式を体育館で行いましたが、全校生徒が体育館に入って式典ができたことで、ようやく学校らしさが戻りつつあるように感じました。

ただし、これで大丈夫とも言い難く、密を避け、マスクを着用することを引き続き徹底する必要があります。これまで本校から感染した人が誰一人出ていないことは「スゴイこと」だと思います。各々が気をつけて生活していることの現れでしょう。

指定校推薦枠も決まって…

学校推薦型選抜（指定校推薦）による受験を希望して、校内選考を通過した生徒への集会が9月上旬に行われました。この時教頭先生が伝えたかったことがきちんと解釈できたのでしょうか？

選考を通過した人は「学校が責任をもって推薦できる」という判断を受けているわけですから、**皆さん方のこれからの努力に期待がかけられている**という意味です。また**指定校の「枠」も**、大学と高校の良好な継続的關係の上で与えられています。つまり**「入学した先輩の“その後の努力”」によって支えられたものであり**、「その出身者ならば頑張ってくれるだろう」という**大学側の期待が「推薦枠」となって示されたものです**。その枠を高校3年生が利用できるにすぎないと解釈してほしいのです。もちろん各自の努力は必要ですが、各自の努力だけで手に入れることのできる特典ではないということを肝に銘じてください。なお、**AO入試に臨む人も、求められることはほぼ同様であると考えていいでしょう**（人数枠がないだけ）。

そして、あくまで「校内選考に通過しただけ」で、合格ではありません。そして大学から送られてくる結果は、「合格である場合」「内定」ということばを使っています。

では皆さん、「**内定**」の意味を捉えていますか？

平たく言えば、「**高等学校の学修過程をつつがなく終了することができたならば、4月からおいでください。そして高等学校と同様に大学でも引き続き勉学・研究に励んでください**」という意味が込められています。

この文章の様子から判断すると、勉強は続けなければならないということですね。

ここに書いたことがウソだと思うのなら、次のように考えてください。

「あなたが大学の教授として学生を募集する立場なら、どのような人に来てほしいか？」

内定を“合格”と勘違いし、その後の勉強をおろそかにした学生の入学を大学側が望むでしょうか？

指定校推薦の枠を利用する場合、自分の向上をめざすこともさることながら、後輩のことまで考えた行動をとり続ける必要があるのです。

受験の終了が「お・し・ま・い」にならないように。



10月の予定(11月初めまで)

定期考査のあと、模試が続きます。健康第一で過ごしましょう。

日	月	火	水	木	金	土
				1 創立記念日	2 後期始業式 (2h~授業)	3
4	5	6	7 人権講演会(6h)	8	9 10月考査①	10
11	12 10月考査②	13 10月考査③	14 10月考査④	15 10月考査⑤	16	17 模試
18 模試	19	20 PM:耳鼻科検診(一部)	21	22	23	24
25 オープンHS	26 代休(10/25)	27 PM:耳鼻科検診(一部)	28	29 PM:内科検診(一部)	30	31 模試
11 / 1 模試	2	3	4 芸術鑑賞会(PM)	5	6	7

体育大会、無事に終了

予定していた体育大会が延期になりましたが、開催した9／29（火）は天候にも恵まれ、暑すぎないなかで、終わることができました。

例年とちがい、規模を縮小したうえで、本校でも“無観客”で行わざるを得なかったのですが、開催中止は免れ、制約が多い中で最良の形がとれたのではないかと思います。生徒会が工夫を凝らしたこともよかったのですが、参加する生徒が協力して取り組めたように感じました。

文句なく、君たちは楽しそうでしたよ。

結果

男子100m

- 1位：北脇 尚弥（2－5）
2位：仙波壮一郎（3－6）
3位：横田かえで（3－2）

女子400mリレー

- 1位：2年2組
2位：3年2組
3位：2年6組

混合リレー

- 1位：3年5組
2位：1年3組
3位：2年3組

障害物競走

- 1位：1年2組
2位：3年2組
3位：2年6組

台風の日

- 1位：3年4組
2位：3年5組
3位：2年1組

綱引き

- 1位：3年1組
2位：3年2組
3位：2年2組
同順：1年4組

クラス団結力

- 1位：3年2組
同順：3年4組
3位：1年6組

大縄跳び

- 1位：1年3組
2位：2年1組
3位：3年5組

3年生がかかわる種目の結果のみを載せています。
では総合成績は・・・

総合成績

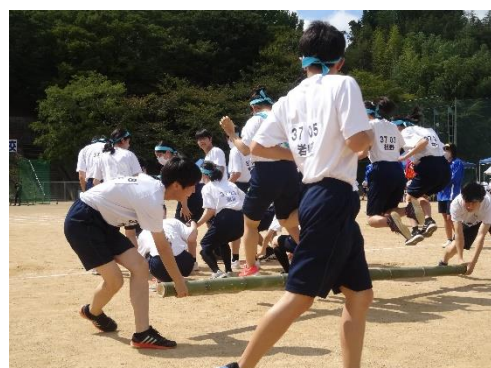
- 1位：1年3組
2位：3年2組
3位：3年5組

このような結果に終わりました。

終盤にかかると、張り切りすぎたためか、足がつった人など負傷者が続出して心配しましたが、みんな痛みに耐えて乗り切りました。

今年の体育大会の様子は本校HPに動画が掲載されていますので、保護者のみなさんはそちらでもお楽しみいただけます。

ここでは写真でその様子を紹介します。





保護者の皆様へ

いつまでこの暑さが続くのか…と思っていたら、9月の末には秋の香りが感じられるようになりました。暑さの心配は解消しつつあるので、子どもには夜長を利用してガンガン勉強してほしいと思います。

子どもの勉強を親が見ることができるのは、せいぜい小学校までです。私は20代のころ中学校に勤めていたことがあります。その校長先生から「手は離しても目は離すな」と言われたことがあります。このことばをふまえると、高校生にかかる手は中学生より少ないと思います。でも卒業時点においても、お金の問題だけは子ども自身でどうすることもできません。生易しくない深刻な問題だと思います。とにかく入試は自分の問題だと子どもは思っているのですが、ひとりでは解決できないのも事実です。

「(私【親】も踏ん張ってんだから) あんたもしっかりしいや!」と背中を押してみてください。